

令和元年第6回飯南町議会定例会

町長行政報告及び提案理由説明要旨

令和元年9月3日

飯 南 町

本日、令和元年第6回飯南町議会定例会を招集いたしまして、開会の運びとなりましたことを、はじめにあたりまして厚くお礼申し上げます。

提案いたしました諸議案の説明に先立ちまして、諸般の事項についてご報告申し上げます。

【はじめに】

はじめに、8月2日に開会されました臨時議会において、早樋議長、内藤副議長が選任されたのをはじめ、常任委員会など各委員会の構成も決まり、今定例会から新たな議会構成のもとで諸議案のご審議をいただくこととなります。

私といたしましても、議員各位のご指導を賜りながら、住民の福祉向上に向けて職員とともに全力で取り組んでまいり所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、早樋議長におかれましては、先日開催されました島根県町村議会議長会臨時総会において、前小野議長に続き、島根県町村議会議長会 副会長に就任されたところであり、お祝い申し上げますと共に今後のご活躍をお祈りいたします。

同じく、那須代表監査委員におかれましても、このほど島根県町村監査委員協議会の会長に再任されたところであり、お祝い申し上げますとともに、引き続きのご活躍をお祈りいたします。

【知事要望】

次に、8月8日、島根創生を訴え、新たな知事に就任された丸山知事に対し、本町の実情、喫緊の課題についてお伝えし、本町発展のため特に必要な支援について要望いたしました。本年は、

1. 飯南病院の医療従事者等の確保
 2. 飯南高校及び教育魅力化事業への支援
 3. 産業振興への支援
 4. 安心安全なまちづくりへの支援
 5. 中山間地域における人材確保に対する支援
- の5項目を重点要望したところでございます。

丸山知事からは、「医療従事者確保に対し、島根県としても、島根大学医学部や自治医科大出身医師の派遣を強く要望し、知恵を絞りながら医師確保に取り組む。」など、心強い言葉をいただいたところであります。なお、その詳細につきましては「広報い〜なん」を通じご報告いたします。

《分野別の基本方針》

それでは、総合振興計画の分野別の基本方針にもとづき、諸般の事項についてご報告申し上げます。

1. 自治・協働

はじめに、自治・協働のまちづくりの推進についてでございます。

8月6日に町民、各種団体、有識者などで構成する「飯南町総合振興計画等評価委員会」を開催し、総合振興計画に掲げる主要施策、及び総合戦略の進捗状況に対し、事業効果の検証や、施策に対する様々なご意見をいただいたところでございます。

これらの意見につきましては「広報い〜なん」や「飯南町ホームページ」に掲載するとともに、今後のまちづくりの施策に反映させてまいります。

【小さな拠点の形成】

次に、小さな拠点の形成についてでございます。

来島拠点複合施設の建設につきましては7月23日に起工式を行い、いよいよ基礎工事に着手したところでございます。

しかし、東京オリンピック等の影響による高力ボルトなどの全国的な資材不足が続いており、本工事においても現時点で計画どおりの進捗が難しい状況にあります。受注業者等と連携を図りながら早期の完成を目指してまいります。

2. 教育・文化・子育て

次に、教育・文化・子育てについてでございます。

【保育料の無償化】

はじめに、保育料の無償化についてでございます。

国においては、10月1日より保育料の無償化を実施されますが、0歳から2歳までの住民税課税世帯については、対象外となっております。

そうしたことから、本町におきましては、子育て支援の充実を図るため、その有償となる0歳から2歳までの住民税課税世帯についても「町単独事業として無償化」し、さらに、「おかず」や「おやつ」などの副食費についても町単独事業として無償とし、これにより、全利用者の保育料を完全に無償化したいと考えております。また、同様に障がい児向けサービスも無償化したいと考え

ているところで、これらにかかる所要額を補正予算に計上しておりますので、よろしく願い申し上げます。

【児童生徒の活躍】

次に、児童生徒の活躍についてでございます。

先に行われた、J Aカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会雲南地区大会において、「来島ポニーズ」が町内チームでは初となる優勝を果たし、県大会に出場したところでございます。続いて行われた県大会においても、1回戦は劇的な逆転サヨナラ勝ちで進み、3位という立派な成績を収めてくれました。

また「第60回全日本吹奏楽コンクール島根県大会」では、中学校小編成の部において、頓原中学校が4年ぶりに見事「最優秀賞（金賞）」を受賞し、高校小編成の部では、飯南高校吹奏楽部も5年連続となる金賞に輝き、両校とも中国大会への切符を手に入れました。

8月25日に開催された中国大会では、頓原中学校、飯南高校とも、少人数ながらも豊かな表現力を発揮し、頓原中学校は初となる「中国大会第1位（金賞）」という栄誉に輝きました。

このほかにも、県大会や全国大会等で活躍している児童生徒がいるところであり、今年も大変な猛暑の中、練習を積み重ねて、見事立派な成績を収めた児童生徒はもちろん、ご支援ご協力いただいた先生方や保護者の皆様に敬意を表するとともに、こうした活躍は私たち町民に大きな感動と勇気を与えてくれるものであり、今後とも町をあげて応援してまいります。

【飯南高校の魅力化】

次に、飯南高校の魅力化についてでございます。

飯南高校魅力化事業において毎年参加している「しまね留学合同説明会」では、今年も東京と大阪2会場に参加し、39組の相談があったところでございます。

また、「森の学校サマーツアー2019」には、全国から8名の参加があり、瀬戸山城址の登山から始まり、しめ縄づくり体験、谷地区でのやまめのつかみどり、小田真木地区での民泊など、都市部の生活では味わえない自然体験と地域の方とのふれあいを楽しみ、特に、素晴らしい星空が見える環境に感動してくれたようでございます。

最終日のオープンハイスクールには、町内中学校からの34名を始めとして、県内・県外の中学校から総勢83名の生徒が参加し、飯南高校の教育活動や学校生活を見学していただきました。

飯南高校に関心を持ち、全国から集まってくる生徒の皆さんに、本町の生命

地域学や少人数指導など、特色ある取り組みを大いにPRし、飯南高校の生徒数確保に向けてしっかりと取り組んでまいります。

【日本遺産認定】

次に、日本遺産認定についてでございます。

「石見銀山街道」については、沿線7市町（大田市・美郷町・飯南町・三次市、府中市、世羅町、尾道市）で石見銀山街道日本遺産認定推進協議会を設立し、（これまで三度）日本遺産認定に向けて申請してまいりましたが、広域な取り組みのため、その効果や実効性において課題があるとして、認定に至っていない状況にあります。

これらの課題について協議会で整理した結果、本年度をラストチャンスとして日本遺産認定に向けて取り組んで行くことといたしました。

3. 産業

次に、産業についてでございます。

【農業の振興】

はじめに、農業の振興についてでございます。

先日、令和元年産米の買取価格が公表されました。

本町の買取価格（仮払金）は、「1等特別栽培コシヒカリ」で7,150円／袋、「慣行栽培コシヒカリ」で6,900円／袋で、昨年よりそれぞれ50円アップされ、「低タンパクのCE特別栽培コシヒカリ」は昨年と同額の7,400円／袋、とされ、12月末に買取金の追加金を支払う2段階払いの実施も決定されました。

私といたしましても、一層激化する産地間競争を見据え、良質米生産にJAなど関係団体と連携して、引き続き取り組んでまいります。

【観光の振興】

次に、観光の振興についてでございます。

飯南町観光協会主催で、本町をはじめ周辺市町を舞台に「やまなみ街道クライムライド2019」が先月18日に開催され、191名の参加者が「66キロショートコース」「110キロミドルコース」「140キロロングコース」に、それぞれ挑まれました。

参加者は、昨年より53名も増え、当日は暑さも和らいだコンディションの中、コース周辺のすばらしい自然やエイドステーションで提供される地域食材やドリンクサービスを満喫され、大盛況の大会となりました。

同じく、今月 21 日には「第 6 回道の駅グルメライド in 中国山地」の開催が予定されており、こちらの方も 300 名を超す参加者が見込まれるなど、今後も「サイクリングは飯南町」のイメージを定着させ、サイクリングによる本町への誘客につながるよう関係団体とともに取り組んでまいります。

また、大しめなわ創作館は平成 26 年 9 月に開館し、本年で開館 5 周年を迎えます。開館以来の入館者数は 9 万人を越え、「日本一の大しめ縄の里飯南町」を発信する観光誘客施設として成長してまいりました。

10 月 26 日には、開館 5 周年の記念行事を行うこととしており、「しめ縄」をキーワードとした産業振興、インバウンドを含めた観光振興をさらに進めてまいりたいと考えております。

【商工業の振興】

次に、商工業の振興についてでございます。

来月 10 月からの消費税率改正に伴い、キャッシュレス決済時のポイント還元が実施されます。

町といたしましても、この制度の恩恵が本町でも受けられるよう、町内事業者のキャッシュレス決済環境の整備を支援しているところでございます。

また、今月 18 日には消費者向け研修会を開催することとしており、町内の取り扱い事業所につきましても周知を図ってまいります。

4. 保健・福祉

次に、保健・福祉についてでございます。

【健康づくりの推進】

はじめに、健康づくりの推進についてでございます。

5 月から 6 月にかけて、健康診査や、各種がん検診を実施し、多くの住民の皆様にご受診していただきましたが、ご都合により受診できなかった方のために 11 月 9 日土曜日にフォロー健診を実施いたします。

この機会に是非受診していただき、ご自身の健康管理に役立てていただきますよう、あらためてご案内いたします。

また、本町においては「お口からはじめる健康づくり」「森林セラピーを活用した健康づくり」などさまざまな切り口からの健康増進事業に取り組んできておりますが、この度、島根県市町村振興協議会の事業を活用し、利用者が増加している来島保健センターのトレーニング機器の更新や、入退室管理システムを整備したく考えており、その所要額を補正予算に計上しておりますので、よ

ろしくお願い申し上げます。

【地域医療の充実】

次に、地域医療の充実についてでございます。

8月11日、医療及び福祉従事者確保対策事業の対象となる学生や、卒業して医療現場で働いている職員などを対象に「い〜なんメディカフェ」を開催し、町内医療機関の医師や医療関係者、行政関係者などが意見交換を行いました。

本年は、本町の地域医療の将来を担う学生8名が、自分たちの近況を報告するとともに、先輩たちも通ってきた道を振り返り助言するなど、お互いが刺激を受け対話できる貴重な機会になりました。

また、10月5日に開催します「い〜にゃん健康まつり」は、県立大学出雲キャンパスとの共催で、タウンミーティングを同時開催いたします。

テーマは「未来予想図 飯南町 この地域の暮らしを継続するために次世代へのバトンリレー」とし、地元出身の学生たちと住民の皆様と本町の課題や将来について語り合う企画となっております。

次世代を担う小中、高校生の参加も呼びかけ、祭りの後半にはお楽しみイベントも計画しておりますので多くの皆様にお出かけいただきますようお願い申し上げます。

【病院事業】

次に病院事業についてでございます。

平成30年度の決算の状況につきましては、入院部門、外来部門ともに、前年度と同様の患者数となった中で、収益につきましては、施設基準の届出見直しなどにより増加はありましたが、施設・機器の老朽化への対応や委託費等の増加もあり、経常損益で前年度比4百万円余の改善があったものの、決算といたしましては、1千4百万円余の損失を計上することとなりました。

人口減少や医療従事者不足などの課題がある中、バランスのとれた病院運営を行っていくことは、容易なことではないと考えておりますが、地域に必要な医療を持続的に提供できるよう、適正な病院運営と健全経営に取り組んでまいります。

【障がい福祉の充実】

次に、障がい福祉の充実についてでございます。

NPO法人「晴雲の里」建替計画につきましては、土地購入及び造成測量設計が9月末に完了予定であり、造成工事におきましても準備が整いましたので、その所要額を補正予算に計上しております。よろしくようお願い申し上げます。

5. 生活環境

次に、生活環境についてでございます。

【可燃ごみ処理施設広域化の検討】

はじめに、可燃ごみ処理施設広域化の検討についてでございます。

奥出雲町から次期可燃ごみ処理施設の共同のごみ処理の申し出があったことについて、6月の行政報告において報告しておりますが、本町としてはこの申し出について同意することとして、雲南市・飯南町事務組合に対し、その旨を伝えたところであります。

また、雲南市についても同意されたところであり、これにより、雲南市・飯南町事務組合として奥出雲町に対し同意することとして7月22日に同意書を送付したところであります。

こうしたことから、今後は、雲南市・飯南町事務組合において1市2町の次期可燃ごみ処理施設の検討を進めてまいります。

【定住の促進】

次に、定住の促進についてでございます。

定住促進賃貸住宅につきましては、本年度は、上赤名に1棟、泉川に1棟を建設することとし、今月の発注に向け準備を進めているところでございます。

この事業は本町の定住対策にとって大きな成果につながっていることから、引き続き住宅用地の確保に努めてまいります。

また、本年5月に東京23区から本町へ移住された方が町内で企業などのパンフレットやWEBサイトなどを制作される会社を設立される予定となり、今後は国の制度である移住支援制度を活用いただく予定にしております。

【生活道の整備と安全確保】

次に、生活道の整備と安全確保についてでございます。

町道整備事業のうち社会資本整備総合交付金事業は、繰越を含め工事発注をほぼ終了いたしました。残る箇所につきましても速やかに発注するよう努めてまいります。

佐見地区の水道事業につきましては、予定している全ての工事の発注を終え、順調に工事を行っているところで、引き続き接続を推進し安全安心な飲料水を供給してまいります。

【消防操法大会】

次に、消防操法大会についてでございます。

7月14日、雲南市において「第44回雲南地区消防操法大会」が、7月28日には浜田市において「第63回島根県消防操法大会」がそれぞれ開催され、本町からは第1分団が自動車ポンプの部に出場し、長期間にわたる練習の成果を十分に発揮し健闘されました。

出場された選手並びに団員の皆様に敬意を表しますとともに、団員をサポートしていただきましたご家族、職場の皆様には感謝申し上げます。

また、技術指導をいただきました飯南消防署をはじめ、競技会場で激励いただいた飯南町議会、地元自治会など関係の皆様にはあらためて感謝申し上げます。

【消防防災体制の充実】

次に、消防防災体制の充実についてでございます。

現在、飯南放送センターの文字放送システムが故障し文字放送の送出作業に支障を来しております。

このたび、このシステムを更新するにあたり、雲南市・飯南町事務組合と協議を重ねた結果、故障している文字放送システムと老朽化の激しい変調器を一体的にリニューアルすることで、気象情報、防災情報、火災情報などの情報提供機能を強化することといたしました。なお、今回これにかかわる所要額を補正予算に計上しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

【インターネットの高速化】

次に、インターネットの高速化についてでございます。

情報通信施設の光ケーブル化と合わせて上位回線の増強工事を進めておりましたが、8月1日から増強されたネット環境のもとで運用を開始しております。

これにより、光ケーブル化の完了している赤来地域においては、新たに回線速度100メガの法人向けビジネスプランの提供が可能となったほか、一般向けベストプランの回線速度も最大50メガまで増強できることとなりました。

なお、頓原地域の光ケーブル化につきましては7月から着手しており、これが完了すれば町内全域で高速インターネット環境が整いますので、今後、住民の皆様には快適な情報通信サービスを提供するとともに、本町で起業創業を目指す企業にも積極的にアピールし、定住人口の増加や雇用の創出にもつなげてまいります。

【平成30年度決算】

次に、平成30年度決算についてでございます。

平成30年度決算につきましては、先般、監査委員の審査を受けたところでございますが、病院事業会計を除く歳入歳出差引額は、2億4千4百万円余となり、このうち一般会計につきましては、翌年度に繰越すべき財源を除き8千6百万円余の実質収支となりました。

また、「財政健全化法」に基づく財政指標につきましては、将来に負担すべき借金の比率を表す「将来負担比率」につきましては、「早期健全化基準」350%を大きく下回っておりますが、借金の返済割合を示す「実質公債費比率」につきましては10.8%と増加傾向にあり、今後も町債の発行抑制と繰上償還に努めてまいります。

【補正予算】

次に、本定例会に提案する補正予算についてでございます。

一般会計の主な歳出につきましては、ケーブルテレビ防災情報機能強化整備に2千8百万円余、晴雲の里用地造成工事に3千万円余、将来の財政負担を軽減するための町債繰上償還に1億5千7百万円余など、総額2億7千5百万円余の増額補正としたところでございます。

特別会計の主な補正としましては、簡易水道事業会計において支障移転工事費を、病院事業会計においては、産休代診医の人件費などを予算計上したほか、その他の特別会計につきましては前年度繰越金などを計上したところでございます。

今回提案いたします議案は、平成30年度飯南町各会計の決算認定1件、財政健全化法に基づく健全化判断比率等の報告などの報告案件2件、条例関係5件、その他議決を要する案件2件、令和元年度飯南町一般会計補正予算(第2号)など、予算関係7件でございます。

以上諸般の報告並びに提案理由の要旨につきまして申し上げましたが、詳細につきましては、後ほど担当課長より説明いたさせますので、何とぞ慎重にご審議の上、適切にご議決を賜りますようお願い申し上げます。